

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【公表番号】特表 2002-526626 (P2002-526626A)

【公表日】平成 14 年 8 月 20 日 (2002.8.20)

【出願番号】特願 2000-574605 (P2000-574605)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 25/12 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 67/02

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 5/00

C 0 8 L 25/12

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 合計して 100 質量%になる、成分 A～C 及び場合により D 及び E の合計に対して、

a) 成分 A として、少なくとも 1 種の芳香族ポリエステル 10～98 質量%、

b) 成分 B として、0 以下の軟質相のガラス転移温度及び平均粒度 50～1000 nm を有する粒状グラフトコポリマー少なくとも 1 種 1～50 質量%、

c) 成分 C として、モノマー：

c 1) 成分 C 1 としてのビニル芳香族モノマー少なくとも 1 種 50～90 質量%及び

c 2) 成分 C 2 としてのアクリルニトリル及び/又はメタクリルニトリル 10～25 質量%

から成るコポリマー少なくとも 1 種 1～50 質量%

d) 成分 D として、成分 A 及び/又は C と均一に混合可能な又はその中に分散可能な相容性の他のポリマー 0～25 質量%及び

e) 成分 E として、慣用の添加剤、例えばカーボンブラック、顔料、UV-安定剤、酸化遅延剤、滑剤及び離型剤 0～10 質量%

を含有する熱可塑性成形材料から成る自動車両の車内用の成形材料。

【請求項 2】 成分 A は、

a 1) ポリブチレンテレフタレート 60～100 質量%及び

a 2) ポリエチレンテレフタレート 0～40 質量%

から成る、請求項 1 に記載の成形材料。

【請求項 3】 成分 B は、

b 1 ) モノマー :

b 1 . 1 ) 成分 B 1 1 としてのアクリル酸の C 1 ~ C 1 0 - アルキルエステル 7 5 ~ 9 9 . 9 質量 %

b 1 . 2 ) 成分 B 1 2 としての少なくとも 2 個のオレフィン系の非共役二重結合を有する多官能モノマー少なくとも 1 種 0 . 1 ~ 1 0 質量 % 及び

b 1 . 3 ) 成分 B 1 3 としての他の共重合可能なモノマー 1 種以上 0 ~ 2 4 . 9 質量 %

から成る粒状グラフト基体 ( B 1 ) 5 0 ~ 9 0 質量 %  
及び

b 2 ) モノマー :

b 2 . 1 ) 成分 B 2 1 としてのビニル芳香族モノマー 5 0 ~ 9 0 質量 % 及び

b 2 . 2 ) 成分 B 2 2 としてのアクリルニトリル及び / 又はメタクリルニトリル 1 0 ~ 5 0 質量 %

から成るグラフト枝体 ( B 2 ) 1 0 ~ 5 0 質量 %  
から成る、請求項 1 に記載の成形材料。

【請求項 4】 成分 B 2 1 及び / 又は C 1 は、非置換スチロールである、請求項 1 に記載の成形材料。

【請求項 5】 成分 B 1 は、成分 B 1 1 及び B 1 2 から成る、請求項 1 に記載の成形材料。

【請求項 6】 次の 1 つ以上の特徴 :

- P V 3 3 4 1 による炭素 - 放出 < C 5 0  $\mu$  g / g
- D I N 5 0 0 1 1 / P V 3 9 0 0 による臭気試験の結果が評点 5 より良好
- ビカー B - 軟化温度 > 1 2 0

を有する、請求項 1 に記載の成形材料。

【請求項 7】 自動車両の車内用の成形部材の製造のための、請求項 1 に記載の成形材料の使用。

【請求項 8】 成形材料の熱成形、押出成形、射出成形、カレンダー成形、中空体ブロー成形、圧縮成形、圧縮焼結成形又は焼結成形の工程を包含する、自動車両の車内用の成形部材の製造のための、請求項 1 に記載の成形材料の使用法。